



Telecom World 2018 報告

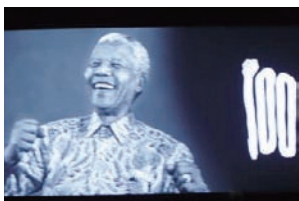
一般財団法人日本ITU協会 きしもと じゅんいち
岸本 淳一



ダーバンICC全景

1. 南アフリカ ダーバンで開催

Telecom World 2018は、2018年9月10日から13日までの4日間、南アフリカ共和国ダーバンで開催された。



マンデラ元大統領



ジャオ事務総局長



Cyril Ramaphosa現大統領

オープニングセレモニーでは、今年、生誕100周年となる南アフリカ マンデラ元大統領の姿が会場に投影され、その後、ジャオITU事務総局長の挨拶、南アフリカCyril Ramaphosa現大統領の開会宣言と続いた。

主催者によれば、157名（47か国）による講演、3,100名を超える参加者とのことであった。

2. 閣僚級ラウンドテーブル

今回の閣僚級ラウンドテーブルは、下記の3テーマで、終日にわたり、活発な議論が行われた。

- Government enabling smarter digital development

(より高度なデジタル開発を可能にする政府)

- Addressing the risk of a smarter world
(より高度な社会の実現へ向けてのリスクへの取組み)
- Financing Digital development
(デジタル開発に関する資金調達)

最初のセッションGovernment enabling smarter digital developmentは、南アフリカ通信郵政副大臣が司会を務め、ジャオITU事務総局長が冒頭挨拶した。

このセッションは、ICTの展開とネットワーク、サービス、アプリケーションの導入を推進するための政府の役割をテーマとしたセッションで、参加者の各国の通信大臣からは、各国におけるデジタルインフラの導入促進、デジタル技術を生かした経済活性化などへの取組みが紹介された。

Financing Digital developmentでは、デジタル変革を



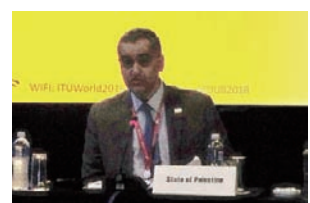
司会 南アフリカ通信郵政副大臣



ジャオITU事務総局長挨拶



南アフリカ通信大臣



パレスチナ自治区通信大臣

推進し、世界中のより高度な社会に移行するために必要な、デジタルインフラ普及のための資金調達、投資活性化についての議論が行われた。依然として世界的にはインフラが充足していないと感じた。

ITUでは、テレコムワールドにおいて、技術の展示だけでなく、各国の閣僚、リーダーによる議論を重視しており、今回のラウンドテーブルでの熱心な議論からも、各国の関心の高さを感じた。



閣僚級ラウンドテーブルセッション



司会 ジョーンソンITU事務総次局長



中国パビリオン



China Mobile展示



アフリカ連合インフラ・エネルギー長官



セッション参加者



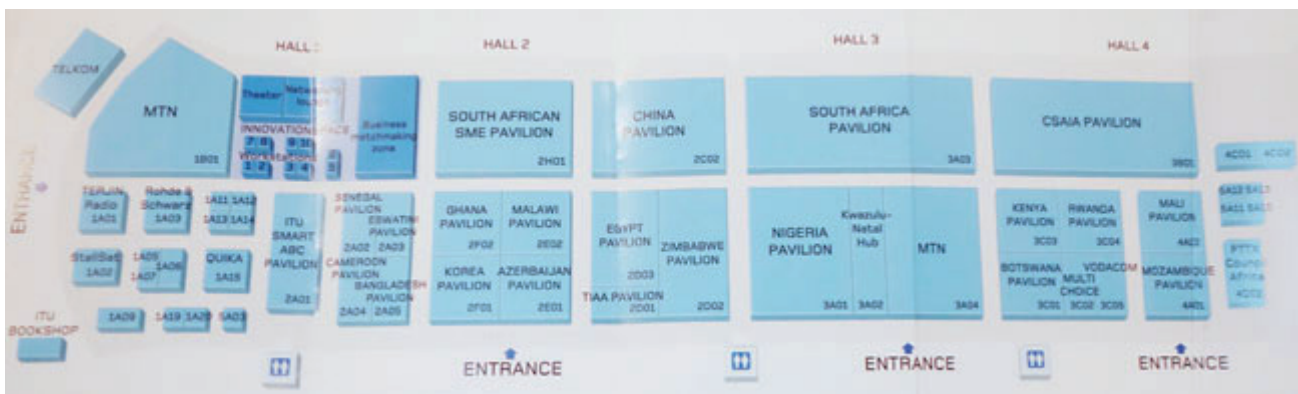
China Telecom展示



CSAIA展示



展示会場の模様



パビリオン配置図

3. 各国・各社展示

各国による展示は、主催国南アフリカと中国が大きな面積を占め、目立っていた。

中国は、通信事業者各社によるパビリオンと中国衛星応用工業会（CSAIA）によるパビリオン、また、各社などによるパビリオンなど、アフリカでの存在感を感じさせるものであった。

開催国の南アフリカパビリオンでは、多数の同国のSME (Small/Medium Enterprise) いわばベンチャー企業がそ



南アフリカパビリオン



ドローン運用会社創立社長

それぞれの独自技術を展示していた。

それ以外の国では、やはりアフリカ諸国の展示が多く、アジアからはバングラデシュ、韓国が展示を行っていた。



バングラデシュ展示



韓国展示

日本からは、安価で堅牢な光ファイバ敷設を提案するグローバルプランが展示を行った。



グローバルプランの展示

4. フォーラムセッションの様相

フォーラムの各セッションでは、技術、政策、課題解決など様々なテーマでの議論が行われた。

“Smart ABC”、人工知能 (AI)、金融分野 (Bank)、都市高度化 (Cities) をキーワードとした複数のセッションも行われた。

①Smart ABC Expert Roundtable: How human economies can benefit from smart machines (人間が如何に高度マシンの恩恵を受けるか) では、AI、機械学習、大規模なデータ分析は、金融分野において大きな変革の可能性を秘めているが、例えば、AIの決定、行動、影響をどのように規制すべきか慎重に議論し、定める必要がある等の様々な観点での意見が交わされた。

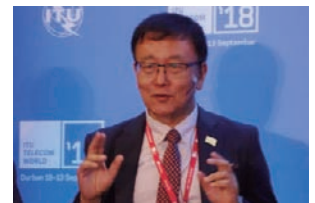
②Smart ABC Expert Roundtable: The role of digital finance in smart, sustainable cities (スマートで持続可能な都市におけるデジタルファイナンスの役割) では、デジタル

金融サービスは、スマート都市の多くの側面を効果的に運用する上で重要であり、輸送から健康、住宅、公益事業、公共サービスまでのあらゆる分野でスマートな都市生活を向上させることができるが、実際には、その実現にあたり、障壁も多いので、課題とその対応策について、参加者それぞれの経験や視点から意見が提示された。

③High Level Panel Discussion: Promoting ICT opportunities for women empowerment (女性エンパワーメントのためのICT機会の促進) では、政府、国際機関、企業の女性リーダーが集まり、公的機関と民間組織の間でイノベー



①セッションの様相



リー ITU-T局長



AIベンチャー (mandal.ai)



データ分析会社 (Ixio Analytics)



国際金融公社



②セッションの様相



③セッションの様相



南アフリカ通信郵政副大臣

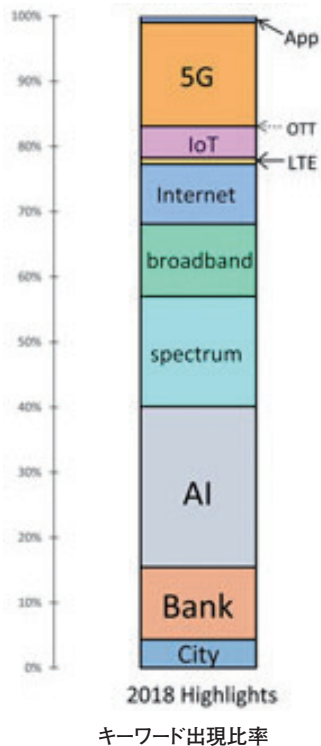


南アフリカ地方政府高官



ションを起こすための取組みについての意見が報告され、現状の改善のための枠組みや女性の経済的能力やビジネス上のネットワークを強化するための方法などについて活発な議論が行われた。

今回開催の多様なフォーラムでの傾向について、セッション紹介（プログラム）や日々のハイライトに出現したキーワードの比率を用いて確認した。昨年が続いて、Smart ABCへの関心の高さがうかがえ、中でも人口知能に最も高い関心が見られた。技術的なキーワードでは「5G」に関する議論が多かったことがうかがえる。



5. アワードセレモニー

本イベントの締めくくりとなるアワードセレモニーでは、参加した各国政府、SMEに対して、Government Award（政府賞）、Global SME Awards Best Business Model（ビジネスモデル賞）、Most innovative use of ICT（革新的ICT活用賞）、Greatest Social Impact（社会影響賞）、Global SME Excellent Award（最優秀賞）などの各賞が贈られた。



政府賞ケニア



グローバルSME最優秀賞 puleg



受賞者と共に

6. 所感・感想

全体を通じた個人的な所感・感想は、以下である。

- (1) 途上国での、インフラ導入/整備（特にブロードバンド導入）は、継続した課題である。
- (2) 各国では、産業発展等に向けてICT活用に取り組んでいるが、各種の懸念やリスクの解決/整理も必要とされており、個々の取組みが実施されている。いかに効率的に、スピーディに課題をクリアするかを、各国各処のそれぞれの環境の中で、粘り強く取り組んでいる様子が垣間見えた。

折しも、本イベントに出発する9月初旬の前に、日本では豪雨や地震があり、大きな被害が発生した。本年夏以降、例年より多いと感じる日本の自然災害であるが、ICTの力を用いた『災害時の情報共有方法』や『復旧復興時の支援方法』など各地で行われている事例を、日本から発信することが他国での災害対策の一助になるのではないかと感じた。

7. 次回ハンガリー開催

今回は、2019年9月にハンガリー（ブダペスト）で開催予定である。世界の動向把握、情報収集のため、より多くの皆様に参加していただけることを期待しております。よろしくお願いたします。

Telecom World 2018については、当協会HPでもレポートしています。写真詳細等をご覧ください。

〈ITUテレコムワールド2018ビジュアルレポート〉

https://www.ituaj.jp/00_sg/20180910_TW18/TW18.html